

# ひだまり



ひだまり Vol. 48

医療法人社団みつわ会  
山形県鶴岡市茅原町26番23号  
〈事務局〉Tel.0235 - 25 - 8255

- ・老人保健施設のぞみの園
- ・サテライト老健のぞみ
- ・サテライト老健ちわら
- ・グループホームひだまりの家
- ・のぞみの園訪問介護サービス
- ・茅原クリニック
- ・ケアプランセンターひだまり
- ・有料老人ホームサニーハウス茅原
- ・有料老人ホームみつわ荘
- ・有料老人ホーム共栄荘
- ・有料老人ホームあじさいの家
- ・ライフサポートハウス千寿

発行日 平成25年 5月 1日  
発行人 施設長 佐藤久美

今年もようやく暖かくなり春の訪れを感じられるようになりました。春の楽しみの一つと言えれば何と言っても「お花見」。

桜の開花に合わせてながら、各部署「鶴岡公園」や「赤川の土手」、「温海方面」にお花見バスハイクへ出かけました。満開の桜の花を前にご利用者の皆様も「きれいだのう」「花めっこいのう」と大変喜ばれておりました。

当法人では、ご利用者の皆さんから季節の移り変わり等を感じていただけるように行事や催しを計画してまいります。これからもご利用者の皆さんの一年いちねんを大切にしながら楽しんでいただけるよう様々な企画していきたいと思っております。

今年もたくさん  
春を感じて



新人紹介 (平成24年度～平成25年4月) ①マイブーム ②休日の過ごし方 ③ご覧になっている方に一言



介護職員  
野尻 蘭

- ①料理、スイーツ作り
- ②息子とお出かけ♪  
海沿いドライブ♪
- ③笑顔を忘れず、常にご利用者の立場に立って行動したいです。



介護福祉士  
佐藤 大輔

- ①家庭菜園
- ②子供とたわむれてます。
- ③明るく元気に頑張ります。



介護職員  
佐藤 眞佐子

- ①冬は手編み、春からは山で山菜取りです
- ②編み物や、家のことをしながらゆっくりしています。
- ③鶴岡は美しい所。離れてはじめて良さがわかりました。



介護福祉士  
矢口 宏

- ①ジョギング
- ②野球(草野球)、温泉、ドライブ
- ③ご利用者と一緒に笑顔で過ごせるよう頑張ります

New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪



看護師  
本間 久美子

- ①ネットショッピング(子供服)
- ②子供と一緒に公園に行く。
- ③新しい仕事を覚えるのに必死ですが、スタッフやご利用者の名前を覚えられるように頑張ります。



理学療法士  
佐藤 靖浩

- ①寅さんとスポーツ観戦
- ②モンテディオの試合観戦、映画鑑賞
- ③早く先輩方のような立派な理学療法士になれるよう頑張ります。



社会福祉士  
大島 藍

- ①ドライブ
- ②友達と遊ぶ
- ③ご利用者の名前を早く覚えられるように頑張ります。



介護職員  
小松 志保

- ①絵を描くこと
- ②掃除、洗濯、買い物
- ③いつも笑顔を忘れずに頑張っていきます。

New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪



介護福祉士  
菅原 麻未

- ①ジムで体を動かすこと
- ②スポーツ観戦、買い物
- ③笑顔と元気で頑張ります。



介護職員  
佐藤 耀太

- ①ドライブ、音楽
- ②筋トレ、買い物
- ③ご利用者とそのご家族にも信頼していただける介護士になりたいです。



介護職員  
松浦 文弥

- ①テニス
- ②ゲーム、家事手伝い、友人と外出
- ③新人らしい態度で頑張っていきます。



介護職員  
石栗 和姫

- ①ドラマを見ること
- ②家族旅行
- ③水泳で鍛えた体力を活かして頑張ります。



親桜会余興  
ももいろクローバーズ!!

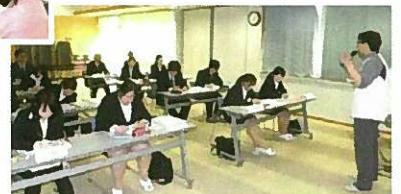
4月18日  
親桜会・新入職員歓迎会

平成25年度  
親桜会 新入  
祝 五十嵐民雄先生 山形県庁学局



ランチョン交流会

4月1日  
新人職員研修会講義の様子





※ 昨年度のサテライト老健2施設の開設と、今年度の通所サービス拡張に向けての採用となっております。



介護職員  
佐藤 政聡

- ①イラスト、映画鑑賞(DVD)
- ②外出、映画鑑賞(DVD)
- ③不器用ですが、一生懸命頑張ります。



介護職員  
寒河江 好子

- ①ピクロス、クロスワード
- ②家事、買い物…のんびり
- ③思いやりを大切にいつも笑顔で頑張ります。



介護福祉士  
齋藤 千鶴

- ①癒の蔵(岩盤浴)に行くこと
- ②友達と美味しいラーメン屋を探しています。
- ③初心を忘れず、フットワークの軽い介護士になりたいです。



介護職員  
佐藤 雄三

- ①仕事も人生も、どうせやるなら楽しく
- ②自由な時間をたのしむこと
- ③60歳からの再スタートです。

New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪



介護福祉士  
田澤 史奈

- ①お菓子作り
- ②最近までペーパードライバーだったので郊外までドライブをしています。
- ③にこにこ笑顔で頑張ります。



介護福祉士  
渡部 一姫

- ①モーニング娘のコンサートDVDを観て踊ること
- ②買い物
- ③毎日笑顔で、楽しく頑張ります。



介護職員  
五十嵐 杏奈

- ①ペットの写真を撮ること
- ②ドライブ、買い物
- ③笑顔で明るく頑張ります。



介護福祉士  
佐藤 朋之

- ①カー(車)用品を見ること
- ②トレーニング、ドライブ
- ③立派な介護福祉士になれるよう日々知識や技術を身に付けたいです。

New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪ New Face ♪



介護職員  
亀井 香織

- ①コップを集めること
- ②テレビを見たり、読書をしたりと家でまったり過ごしています。
- ③介護福祉士の資格が取れるように頑張ります。



介護職員  
齋藤 未知

- ①詩を書くこと、写真を撮ること、音楽鑑賞
- ②ドライブや自分の好きなことをしてゆっくり過ごしています。
- ③精一杯頑張ります。



介護職員  
栗田 茜

- ①車の運転
- ②録画したテレビを見る
- ③ご利用者の手助けとなれるよう笑顔を忘れずに頑張ります。



介護福祉士  
齋藤 栄子

- ①ゆるキャラ
- ②子供達3人とたわむれながら遊んでいます。
- ③「初心忘れるべからず」。ご利用者にたくさん笑顔になって頂けるよう頑張ります。

去る四月一日、昨年度からの新規採用者を対象とした新人職員研修会が開催されました。研修内容は、介護保険としての心構え等、担当職員から幅広い内容での講義となりました。昼食時には、新人職員と役職者との交流を深めることを目的として行われていたランチョン交流会が開かれました。職員同士、一緒に昼食を食べながら趣味の話やマイブーム、特技の話など新たな一面を知ることもでき、これからは一緒に働く仲間と楽しくコミュニケーションをとれる時間を過ごしたいと思います。

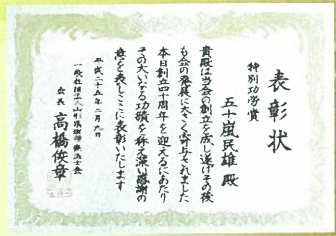
迎え、新たな若い力に期待すると共に、「ご利用者の幸せは、職員のもっとうに、より良いサービス提供に努めていきたいと思えます。」

(本間・西脇)

入職を迎えて



# 祝 理学療法士 五十嵐先生 特別功労賞受賞



昨年度40周年を迎えた山形県理学療法士会。現在635名の会員を抱える会も、発足当時はたった5名の会員でした。その創成期におけるメンバーの一人として尽力され、その後も会の発展に貢献されたとして、山形県理学療法士会より「特別功労賞」を授与されました。

先生は、「のぞみの園」開設以来20年以上、当法人の発展に大変寄与されました。「先生、受賞おめでとうございます。そして、今までのご尽力ありがとうございます。これからも、益々お元気で、ご利用者のため、そして私達へのご指導ご鞭撻よろしく願っています。」

## <経歴>

昭和30年 荘内病院整形外科勤務  
 昭和43年 理学療法士免許を取得  
 昭和47年 山形県理学療法士会が発足  
 発足当初、会計・庶務を担当  
 昭和55年～平成3年の11年間  
 荘内病院リハビリテーション科科長就任  
 平成5年3月31日 荘内病院を退職  
 平成5年4月1日 医療法人社団みつわ会入籍

## ～先生からのお言葉～ 「受賞に想う」五十嵐 民雄（観桜会H25/4/18にて）

この度山形県理学療法士会創立40周年記念式典に際し特別功労賞を戴き、更に観桜会の席上、ご丁寧なるお披露目と会長、理事長、施設長から過分なるご祝辞を賜り誠に有難うございました。45年前に資格を取得した過ぎし日々を想うと感無量であります。

この受賞は皆様のご支援とご協力の賜で感謝の他ありません。みつわ会に入職して20年、職員皆様をはじめ、ご利用者様・ご家族様とのご縁をこれからも大切にしていきたいと思っております。

(三浦・遠田)



老人保健施設のぞみの園  
通所リハビリテーション

介護主任 工藤 里美

た く さ ん の  
支 え か ら

昨年の4月祖母が93歳で亡くなった。喜寿のお祝いの頃より認知症の症状が見られ、転倒して大腿骨を骨折し亡くなるまでの5年間は寝たきりとなってしまった。祖母の介護は家族だけでなく、伯父伯母の協力もあり、また定期的に遠方の伯母も来てくれたりとたくさんの人に支えられていた。認知症の初期の頃は祖母の言動を理解できず、イライラしたりやさしく接する事ができない時もあったが、少しずつ受容ができるようになり、日を追うごとに適切な対応のあり方を知れば知るほど、できない事への葛藤もあったように思うが、反面祖母の介護が家族の結びつきを強くしてくれていたように思う。祖母とドライブして過ごしたり、寝たきりとなり言葉が出なくなってからも顔つきや表情の変化が見られた事が嬉しくて、毎日夕方には皆で、その日の祖母の状況報告をするのが日課になっていた。

病状が悪化し嚥下困難となり、祖母の意思が聞けない中での対応や、やむを得ず今後の判断をせざるを得なかった時は本当に辛かった。寝たきりとなっても自宅で過ごさせてやりたいな…と感じてはいたものの、家族だけでは限界があり色々なサービスを利用し、ケアマネージャーやショート・訪問入浴の職員の方々には無理をお願いした事も多かったが、笑顔や力強い励ましの言葉と、本当に元気を頂いた。

現在自分が所属している通所部門では、在宅生活を続けているご利用者・ご家族の皆様との関わりを持たせて頂いている。ご高齢のご夫婦間での長年の介護であったり、ご利用者・ご家族の頑張りを目の当たりにし頑張る活力を頂く事も多い。

通所部門で勤務7年、まだまだ未熟だが自分がしてもらったようにご利用者やご家族に笑顔と元気を届け、在宅生活が充実したものになるようお手伝いできればと思っている。祖母に、そして周りの方々から与えて頂いたものの大きさに本当に感謝している。